



子牛の気持ちを読み、ストレスのない環境での成長を促す千葉高裕さん

東北の牧場で生まれた子牛を雄大な大地で健やかに育てる

日本全国で子牛の頭数が減少する中、「うしちゃんファーム」では積極的に肉牛の自社繁殖に取り組んでいる。消費者に美味しい牛肉を届ける、そのはじめの歩となる繁殖の拠点では、親子の牛が愛情を込めて大切に育てられていた。

自社繁殖の拠点は、自然豊かな早池峰の牧場

北上山地の最高峰、早池峰山の雄大なパノラマを背景に、緑豊かな牧草が広がる『早池峰牧場』。ここが、「うしちゃんファーム」が2016年より本格的に取り組む自社繁殖の拠点だ。

肉牛に携わって15年の匠、千葉高裕さんは、肉牛の肥育と繁殖の技術は全く異なると話す。食べておいしい牛肉をつくる肥育とは異なり、繁殖は母子の健康が第一。そのため、牛舎の環境や与える飼料など、すべてが繁殖専用で管理されている。

子牛を授かる親牛は、目利きとして知られる佐藤賀一会長や佐藤一貴社長が買い付ける。繁殖に適した体型と年齢、乳房



『早池峰牧場』では、親子含めて500頭以上の牛を飼育している



ペレット状の飼料、スターターを与えることで栄養状態の良い子牛が育つ

我が子のように大切に愛を注いで子牛を育てる

のかたちや顔つきなど、さまざまな要素を満たした親牛だけを厳選するという。

妊娠した親牛は、健康な子牛が出産できるよう最大限に配慮して飼育が行われる。飼料は牛舎に隣接する牧場で育てた牧草や、石巻地域で収穫した良質な稲わらなど、東北の大地で育てた繊維質の草が中心。牧草地での放牧も行い、運動も兼ねて栄養価の高い新鮮な牧草を食べさせる。

繁殖の匠が付き添う出産を経て無事子牛が生まれると、親子は同じ牛舎の中で育てられる。親牛のミルクをたっぷり飲んですくすく育つ子牛は、広い牛舎の中で飛んだり跳ねたり、元気がいっぱい。母牛と暮らす。日が経つとスターターと呼ばれ子牛用の飼料も与えられ、骨や筋肉の



まるで自分の子どものように子牛に接しています、と話す千葉さん

成長を促していく。しかし成牛に比べてデリケートな子牛は、一律に同じ飼料で育てるわけではない。1頭ごとにミルクやスターターの量や配合を変え、どの子牛も等しく成長していけるよう配慮する。

「繁殖は、親子の牛を観察することが重要。からだを見て雰囲気を感じて、どれだけ牛の気持ちがわかるか。言葉にはしにくいけれど、それを感じられるのが匠だと思います」と千葉さん。生後6〜7ヵ月で繁殖用の牛舎から肥育用の牛舎に移る時、子牛が立派に成長して自分が思い描いた理想の体型になっているのを見た時が一番嬉しい、と笑顔で語った。

「うしちゃんファーム」は今後も、自社での繁殖を増やしていく予定だ。東北に生まれ、東北の大地で育った飼料を食べ、東北で肥育された牛肉が、地元はもとより日本全国に「東北生まれの牛肉のおいしさ」を届けていくことだろう。



すべての牛にじっくり向き合い、長い時間をかけて大切に育てあげる

うしちゃんファーム ブランド牛提供店

和牛・マエストロさとう

④ 仙台市青葉区国分町3-8-10
我妻ビル1F
☎022-796-2914
🕒 11:30~14:00、17:00~23:00
(土・日曜、祝日16:00~)
※LO各30分前
⑥ 無休

創作横石 三陸金華和牛

④ 仙台市青葉区国分町2-5-1
ゴロク参番館1F
☎022-302-4129
🕒 18:00~24:00(完全予約制)
⑥ 日曜

うしちゃんファーム

④ 石巻市桃生町中津山字四軒前1-2
☎0225-76-2179

うしちゃんファーム 検索